

I. 広東省

1. 人事異動

●27日午前、第12期省人代常務委員会第34回会議で、黄寧生・省科学技術庁長が副省長に任命された（7月28日付『南方日報』）。

2. 劉奇葆・党中央宣伝部長が広東美術展を見学

●23日、劉奇葆・中央宣伝部長が北京市の中国美術館を訪れ、省宣伝部・省文化庁・省文学芸術界連合会・同美術館共催の「使命は革新にあり——広東美術100年大展覽会」を見学。劉部長は広東美術界が「2つの100年」という奮闘目標に目を向け、時代に合った素晴らしい作品を創り出していくよう激励。慎海雄・省宣伝部長が同行（7月24日付『南方日報』）。

3. 第115回「広東学習フォーラム」報告会の開催

●24日午後、林少春・常務副省長が主宰し、「金融改革を深め、実体経済に奉仕する」と題した上記報告会を開催。陳道富・国務院発展研究センター金融研究所副所長がガイダンス。馬興瑞・省長、省党理論学習中心グループメンバー、省人代常務委員会・省政府・省政協の幹部、省裁判所・省検察院の主な責任者、省武警総隊幹部等、約350人が出席（7月25日付『南方日報』）。

4. 省政協親睦会による中国人民解放军創設90周年祝賀座談会の開催

●24日晚、呉偉鵬・省政協秘書長主宰の上記座談会が開催され、王栄・省政協主席が出席するとともに講話を行い、李希林・元広州軍区司令官が部隊の元将軍たちを代表して発言を行なった（7月25日付『南方日報』）。

5. 中国・アフリカ知的財産権制度・政策ハイレベル・シンポジウムの開催

●24日、広州市で上記シンポジウムが開催され、申長雨・国家知的財産権局長、陳雲賢・省政府党組織メンバー（元副省長）、アフリカ地域知的所有権機関事務局長、世界知的所有権機関（WIPO）グローバル・チャレンジ部門のシニア部長が開幕式に出席するとともに挨拶を行なった。馬興瑞・省長の委託を受けた陳・元副省長は次のように述べた。広東省とアフリカ地域の経済交流・貿易は非常に緊密であり、知的財産権分野における協力の強化は、双方が知的財産権制度の構築に関する経験を参照し合い、国際的な制度の発展プロセスに参加し、科学技術イノベーションと経済発展を推し進めることにとって重要な意義がある。同省はこのたびのシンポジウムを契機に、同分野におけるアフリカ諸国とのウィンウィン協力を更に繰り広げ、絶えず理解を深め、コンセンサスを拡大し、その協力を新たな段階に押し上げるよう推進していく（7月25日付『南方日報』）。

6. 袁宝成・副省長がリチャード・ロバーツ卿一行と会談

●24日、上記会談で袁宝成・副省長は省政府を代表して一行の訪問に歓迎の意を表し、広東省はノーベル賞受賞者を含む高度な人材との協力を重視しており、交流を強化していきたいと述べた。他方、ロバーツ卿も深圳市に微生物研究の実験室を創設するとともに、若い科学研究者を発掘・育成し、同省や中国の科学の発展に貢献したいと述べた（7月25日付『南方日報』）。

※リチャード・ロバーツ卿：英国の生化学者・分子生物学者。1993年、遺伝子組換え技術等を発見し、フィリップ・シャープ氏と共にノーベル生理学・医学賞受賞。

7. 全省上半期経済動向分析会議の開催

●25日、林少春・常務副省長主宰の上記会議が開催され、中央政治局が上半期の経済動向に関して検討した際の精神、胡春華・省党書記が省党書記特別テーマ会議で述べた重要講話の精神を伝達するとともに、広東省の上半期の経済動向について突っ込んだ分析を行い、際立った問題の解決について検討し、次の業務を手配。馬興瑞・省長が出席するとともに講話を行なった。同省の上半期のGDP成長率は7.8%増。その他の伸び率は、一定規模以上工業付加価値額7.2%増、固定資産投資14.6%増、消費（小売額）10.5%増、貿易14.1%増であった（7月26日付『南方日報』）。

8. 省党常務委員会議の開催

●28日午後、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、「習近平・総書記の重要講話の精神を学び、第19回党大会を迎えよう」をテーマとした省・部クラス幹部研修チームの精神を伝達・学習し、次のように強調した。習総書記の重要講話の精神を真剣に学習・貫徹し、改革・発展に関する各種業務に着実にしっかりと取り組み、優れた成果を上げて第19回党大会を勝利のうちに迎えよう（7月29日付『南方日報』）。

●28日、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、孫政才・重慶市党書記を重大な紀律違反の疑いで立件・審査するとした中央の決定を伝達・学習。参加者は皆、党中央の決定を擁護し、党中央の権威と集中的かつ統一的な指導を守り、習近平同志を核心とする党中央と一貫して高度な一致を保つ旨表明（7月29日付『南方日報』）。

9. 2017広東・香港・マカオ協力フォーラムの開催

●28日、中山市で上記フォーラムが開催され、梁振英・全国政協副主席（前香港行政長官）、黄華華・全人代常務委員兼華僑委員会副主任（元省長）、袁宝成・副省長、張建宗・香港政務長官が出席。梁副主席は講話の中で次のように述べた。「一国二制度」と香港基本法の下、メカニズムの刷新を通じて、ヒト・カネ・モノ・情報の4つの要素を3地域間で自由に流通させるよう促進することが、広東・香港・マカオ・ベイエリアを成功させる鍵である（7月29日付『南方日報』）。

10. 胡春華・省党書記が広州市を視察

●29日、胡春華・省党書記が広州市の量子技術、スマート製造、再生医療、バイオ関連企業を訪れ、科学技術イノベーションの進捗状況を視察し、次のように述べた。広東省に対する習近平・総書記の重要指示の精神を真剣に学習・貫徹し、「4つの堅持、3つの支え、2つの率先」という要求に基づき、イノベーションによる発展戦略を踏み込んで実施し、広州市が国の科学技術産業イノベーションセンターとなるよう推し進め、より大きな成果が得られるようにしなければならない。任学鋒・広州市党書記、江凌・省党秘書長、黄寧生・副省長等も同行（7月30日付『南方日報』）。

11. 「一帯一路」建設に関する第3回省指導グループ会議の開催

●29日午後、上記会議で上半期の「一帯一路」建設にかかる業務を総括し、次の重点業務について検討・手配。馬興瑞・省長が出席するとともに講話を行い、次のように述べた。「海外への投資（走出去）」を重視するだけでなく、「外資の誘致（引進來）」もしっかりと行い、双方向の貿易を積極的に推し進め、人や文化の往来・交流を促進し、先を争って、金融・科学技術・不動産・農業・環境保護（エコ）・文化等の分野において、より多くの協力の成果を得られるようにしなければならない（7月30日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 人事異動

●25日午後、第15期市人代第6回会議で、蔡朝林・副市長兼南沙区党書記の副市長職を解き、葉牛平・市政府秘書長を副市長に任命することが採決された（7月26日付『広州日報』）。

2. 上半期経済動向分析会議の開催

●28日午前、温国輝・市長主宰の上記会議が開催され、上半期の経済動向について検討・分析し、次の業務を手配。広州市の上半期のGDP総額は9891億元、同成長率は7.9%増。その他の伸び率は、固定資産投資8.6%増、消費（小売額）8.7%増、貿易31.4%増、地方財政収入16.3%増であった（7月29日付『広州日報』）。

●27日、任学鋒・市党書記主宰の市党常務委員会議が開催され、24日の中央政治局会議、第16回中央財經指導グループ会議、全国金融業務会議、省党特別テーマ会議の精神を伝達・学習し、現在の経済動向を分析し、下半期の経済関連業務を手配（7月28日付『広州日報』）。

3. 上海市で2017広州「フォーチュン」グローバルフォーラムのプロモーションを開催

●27日、上海市で上記プロモーションが開催され、世界トップ500企業、業界のリーディング・カンパニー、在上海総領事館や国外の商工会、広州市の企業等の代表・責任者250人余りが出席。蔡朝林・市常務委員兼本フォーラム執行委員会主任が「開放的な思考、イノベーションの遺伝子」と題するプレゼンテーションを行い、広州市の国際的なビジネス環境を示し、企業のフォーラムへの参加と投資を呼びかけた。同プロモーションは本年1月から半年の間に、北京、パリ、香港、NY、ワシントン、東京、シンガポール、台北、シカゴ、ミュンヘン、ロンドンで開催され、このたびの上海市で12か所めとなる（7月27日、28日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 人事異動

●市党常務委員会の検討・合意を経て、劉勝・市政府秘書長の市経済・貿易・情報委員会主任への異動に関する事前公示が出された（7月26日付『深圳特区報』）。

2. 第19回国際植物学大会が開幕

●24日、「グリーンが未来を創る」と題した上記大会が開幕し、馬興瑞・省長が開幕式で習近平・総書記の祝賀メッセージを代読し、束為・中国科学技術協会党組織メンバー兼書記処書記が李克強・総理からの指示を代読した。武維華・中国植物学会理事、王偉中・市党書記も挨拶。陳如桂・市長代理が開幕式を主宰（7月25日付『深圳特区報』）。

●25日午前、上記大会のサテライト会議で、植物のスマート科学技術を「保護・解説・強化・手配」するプラットフォームを創設することが発表され、その署名式が行われた。これにより、世界初となる植物幹細胞バンクが誕生した。その目的は中国の珍しい植物個体の保護にあり、米国、中国、英国、韓国4か国の国家科学研究チームが協力し、未分化の植物幹細胞の分離、培養、保護、最適化等、世界をリードする技術を有する。合わせて、植物幹細胞（深圳）研究院、深圳イノベーション薬材研究院も創設される。エディンバラ大学、ジョンソン・アンド・ジョンソン等、国際的に有名な学術機関や企業が一連の協力協定及び覚書に署名（7月26日付『深圳特区報』、『南方日報』）。

3. 市幹部による海外賓客との会談

●28日昼、陳如桂・市長代理がブラジル・サンパウロ市長一行と会談。双方は科学技術、金融、文化・クリエイティブ産業、投資・貿易、教育・医療、都市計画等、多くの分野で全方位的に協力を深めていくことで合意。在広州ブラジル総領事、艾学峰・副市長等も同席（7月29日付『深圳特区報』）。

●28日、陳彪・副市長が阮文忠・ベトナム計画投資省常務副大臣一行と会談。阮副大臣は、深圳市の新興産業の発展とグリーン・低炭素の成長モデルの成功経験を参考にしたいと述べた（7月29日付『深圳特区報』）。

●28日、呉以環・副市長が米マサチューセッツ工科大学（MIT）副学長一行と会談。同副学長は、MITは深圳市の構造転換による発展に非常に注目しており、同市の最先端企業との研究開発を通じて、双方のイノベーション・起業に、より多くのチャンスを提供したいと述べた（7月29日付『深圳特区報』）。

4. 滴滴出行とソフトバンクがGrabへ共同出資

●24日、滴滴出行はソフトバンクと共に、シンガポールに本部を置くGrabへ20億米ドルの投資を行うと発表（7月25日付『深圳特区報』）。

※滴滴出行はモバイル配車サービスの中国最大手。Grabはオンデマンドの配車や決済サービスを行う東南アジア最大手。

5. 上半期の経済動向

●26日午前、市統計局が発表した統計データによれば、深圳市の上半期のGDP総額は9709億元、同成長率は8.8%増。その他の伸び率は、固定資産投資30.6%増、一定規模以上工業付加価値7.8%増、消費（小売額）9.4%増、貿易5.3%増であった（7月27日付『深圳特区報』）。

6. 第3回深圳国際スマート設備産業博覧会等が開幕

●27日、第3回深圳国際スマート設備産業博覧会ならびに第6回深圳国際電子設備産業博覧会（智博会）、2017宝安産業発展博覧会（宝博会）が開幕し、景曉波・工業・情報化部（工業・通信産業）運営モニタリング調整局巡視員、丘海・市人代主任、艾学峰・副市長が開幕式に出席。智博会は現在、中国唯一のスマート設備、電子産業をテーマとした国際的かつ専門的な博覧会であり、特にスマート・オートメーション設備、ロボット、3Dプリンタ、ウェアラブル・デバイスを中心に展示（7月28日付『深圳特区報』）。